

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(1) セシリアシンガーズ 第6回定期演奏会 「美しい日本語の響き」	平成27年5月16日	今回の定期演奏会では日本語に特化し、さまざまな時代の日本語の作品を集め万葉集や源氏物語などの古典、宮沢賢治、与野野晶子、高野喜久雄、立原道造など詩に付曲された作品を、合唱、独唱という歌声で表現し、改めて日本語の美しさを認識していただけるような演奏会を目指します。また、箏奏者を招き、言葉の結びつきを深め、演奏前に詩の朗読などによって曲の理解を深めたいです。	特定非営利活動法人 音楽の木
	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール		
(2) オーケストラ・ニッポニカ 「第27回演奏会・第28回演奏会」	平成27年5月17日 平成28年2月14日	1つは、生誕90年を迎える芥川也寸志(1925～1989)の代表作の一つ「エローラ交響曲」が作曲された1958年に注目し、日本音楽史に残る傑作が数多く生み出されたこの年に作曲されたさまざまな年代の作曲家の作品を取り上げ、当時の音楽潮流を俯瞰、その音楽的成果を検証します。1つは、イタリア近代の巨匠ピッツェッティ及び、彼との交流によりイタリア音楽の影響を色濃く受け現地ではマエストロと称された菅原明朗の作品を、初演曲を含めて紹介します。 ①第27回演奏会《1958年の交響作品撰》芥川也寸志:エローラ交響曲(1958)・三善晃:交響的変容(1958)舞台初演・武満徹:ソリチュード・ソノール(1958) ②第28回演奏会=菅原明朗:ピアノ協奏曲(1971)初演 他	芥川也寸志 メモリアルオーケストラ・ ニッポニカ
	紀尾井ホール		
(3) 公益社団法人日本演奏連盟 創立50周年記念事業 「演奏家と邦人作曲家シリーズ」	平成27年7月 6日・10日・12日	1965年7月12日、それまで個々に活動していました。日本のクラシック音楽の演奏家が、演奏家を取り巻く様々な社会的な問題を打開するため「日本演奏連盟」を設立、以来、演奏家の利益擁護のため、また次世代の演奏家を育成しクラシック音楽文化の種が日本の津々浦々で開花するため全国規模で活動してきました。2015年に創立50周年を迎え、これを記念して〈演奏家と邦人作曲家シリーズ〉と題して、我が国音楽界を牽引してきた邦人作曲家の作品のみによる連続演奏会を開催。取り上げる作曲家は30名、出演演奏家は120名規模を予定し、日本演奏連盟の総力あげて企画しました。 《第一夜》山田耕筰と信時潔 没後50年記念～明治、大正、昭和 激動の時代を生きた日本の音楽界の二大巨匠特集。《第二夜》歌の日本 日本歌曲の歴史を巡って～滝廉太郎に始まり林光に至る歌曲の道。《第三夜》ピアノの日～邦人ピアノ作品10選～。《第四夜》器楽の日～初演のあの感動をもう一度。《第五夜》合唱の日～戦後の合唱ベスト・セレクション～《最終日》室内オペラの日～オペラと能狂言のコラボレーション作品～	公益社団法人 日本演奏連盟
	サントリーホール ブルーローズ		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(4) 田野畑村・島越の歌 保存プロジェクト 「しまのこしの歌残し」	平成27年7月11日 ～9月迄	東日本大震災により多大なる被害を受けた田野畑村島越地区で60年程前、当時の教師によって作られ子ども達が皆で歌い継いできた島越小学校愛唱歌の資料、譜面などが津波に因って総て流出。当団体は「なにかの形にして、この歌を後世に残していきたい」という、その愛唱歌を記憶している地元のご高齢者たちから要請を受け、数名の方の記憶を元に採譜作業を行い、この愛唱歌を譜面に残すと共に、次世代に継承するため、子ども達を中心とした合唱団を組織し歌唱指導を行った上で、愛唱歌復活のCD作成、発表会を開催します。	特定非営利活動法人 東北岩手応援チャンネル
	未定		
(5) 「UNHEARD NOTES」 国際障害者ピアノフェスティバル In ASIA	平成27年7月22日	「第2回障害者ピアノフェスティバルアジア大会」として、障害者ピアニストの啓発及び国際交流を通して、障害に対する偏見を改め個性的な音楽芸術の創造を目的として開催します。これは第4回ピアノパリンピック in Washington(2017)開催準備に向けて予選会として開催されます。	特定非営利活動法人 国際障害者ピアノ フェスティバル委員会
	東京文化会館小ホール		
(6) 子どもと舞台芸術 - 出会いのフォーラム 2015	平成27年7月23日 ～29日	次世代を担う子どものために、舞台芸術体験の機会を提供できるよう、情報交換と交流によるパートナーシップを構築し、子どものための舞台芸術の振興ならびに地域の文化的環境づくりに寄与し、舞台芸術を通じた文化・教育環境づくりを行っていくことを目的に 1999年より開催しています。「創造の質を問い向上させること」を重視し、講演シンポジウムと舞台鑑賞は50を超えるプログラムの学習と研鑽、鑑賞と表現体験を効果的に配置し、子どもたちにとって地域での舞台芸術の必要性を社会に発信する主体となることを目指しています。	子どもと舞台芸術 - 出会いのフォーラム 実行委員会
	国立オリンピック記念 青少年総合センター		
(7) 桜美林大学 プルヌスホールプロデュース/ 市民参加企画 群読音楽劇 「銀河鉄道夜 2015」	平成27年8月20日 ～23日	この事業は、大学で演劇やダンスを学ぶ桜美林大学の学生と様々な世代の市民、そして第一線で活躍するプロのアーティストという、普段は接点を持たない三者が共演し、6日間という短期の集中稽古の中で「群読」「演技」「歌」「ダンス」そして「ピアノとパーカッションによる生演奏」JAXA 宇宙航空研究開発機構があり、商店街や学校・公共施設などが中心となって”銀河をかけるまち・ふちのべ”をスローガンとして町おこしを用い、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を題材とした本格的な舞台公演を上演します。	桜美林大学 パフォーミングアーツ ・インスティテュート
	桜美林大学 プルヌスホール		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(8) 軽井沢国際合唱 フェスティバル 2015	平成27年8月21日 ～23日	国内外の著名な合唱団を招聘し、日本の避暑地と言われる軽井沢で合唱芸術を通じた国際交流を図るとともに、コンサート以外にワークショップや交流会を実施し、より多くの方々に合唱芸術に触れていただくことで豊かな市民社会を創造することを目的とします。また、参加者を広く国内に案内し、作曲コンクールの実施、発表を通じて、合唱芸術の多様性を感じ、その多様性を互いに認め合うことで、自身の芸術性をさらに高め、それを通じて国内外の合唱さらに、ホール内のコンサートなどにとどまらず、軽井沢での街角コンサートや学校訪問コンサートなどを実施し、観光と教育の面からの地域貢献を図ります。	耕友会
	軽井沢大賀ホール・ 軽井沢パウロカトリック 教会		
(9) 和歌山市民オペラ協会 第20回定期公演オペラ 「夕鶴」	平成27年8月23日	和歌山市民オペラ協会は、20周年を迎えるこの時期に、子どもたちにもおとなにも楽しめる日本オペラ屈指の名作「夕鶴」を公演する。「与ひょう」と妻の「つう」、村の子どもたちが入り混じる穏やかな暮らし、それを変えていくことになった都の華やかな生活の情報、「つう」が織る美しい布を都で売って金儲けしようという「運ず」と「惣ど」。それに乗せられてしまう、お人好し「与ひょう」。しみじみと語りかける情感と、深いドラマが交錯する世界にひととき心を浸し、人間らしい生き方を深く感じて欲しい、というメッセージをこめた舞台です。	和歌山市民オペラ協会
	和歌山市民会館 小ホール		
(10) スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 2015	平成27年8月24日 ～30日	本事業は「音楽を通しての異文化交流」をテーマに、ワールドミュージックの紹介により世界各地のさまざまな文化との出会いと交流の場をつくり、国際社会における共生のための相互理解を深め、地域に根ざした新たな音楽文化の創造を目指す「市民参加型フェスティバル」で、2015年に25回目を迎えます。県内外から集まる200名を超えるボランティアスタッフによって企画運営され、毎年1年間の準備期間を経て開催されます。本会期ではプロステージだけでなくワークショップ、映画上映、公開インタビュー、音楽パレードや出演者公募型ステージなど市民が参加しやすいようなプログラムづくりで、子どもからのお年寄りまで幅広い来場者が気軽に世界の音楽文化に触れられる機会を提供します。	スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 実行委員会
	南砺市福野文化 創造センター他		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(11) 一年一組パペットシアター	平成27年 9月6日 10月4日 11月1日 12月6日 平成28年 1月10日 3月 6日	人形劇は特に小さな子ども達の創造的想像力に働きかけ、感じる力、受けとめる力、共感する力を育て、人間への関心と尊敬の心、そして洞察力を育てていると考えています。小さな人形を遣う人形劇にとっては、演者と観客の想いが行き交う距離には限界があると考えます。そのため「見えるし聴こえるが感じない席」を作らない適切な観客数での公演を企画・実施しています。また、作品終演後に他協会団体との協同により、デンマークの児童演劇で行われている批評対話を実施し、対話形式の批評による作品の顕彰を行っていきます。	一般社団法人 全国専門人形劇団協議会
	芸能花伝舎		
(12) 第35回 九州・沖縄現代音楽祭 in 熊本	平成27年9月26日	九州における現代音楽の普及・発展を第一目的に結成された九州・沖縄作曲家協会は、常に「地球に根ざした音楽の創造は如何にあるべきか」をテーマに据えてきました。毎年九州沖縄の各県持ち回りで音楽祭を開催し多くの作品を発表してきました。今回は、交流を続けている韓国嶺南作曲家を含む2作品も発表される予定だが、助成を受けることにより、会員の経済的負担も軽くなり、また、多くの地元の人の出演や、聴衆にとっての手頃な入場料が可能になり、新作の室内楽を通して、現代の音楽の楽しさを味わうことができ、まさに地球に根ざしたものとなります。	九州・沖縄作曲家協会
	熊本市 平成音楽大学 サテライトステージ		
(13) 日本訳詩家協会 訳詩コンサート 「世界の歌を美しい日本語で」	平成27年9月26日 (予定)平成28年2月	「世界の歌を美しい日本語で」をキーワードとし、日本語が乱れている昨今、外国音楽作品に付された美しい日本語歌詞(訳詩)の更なる普及、並びに会員の創作振興及び新人歌手の発表を目的としたコンサートを開催する。設立50周年を経た当協会は、訳詩家の権利を確立し優秀な訳詩の創作を助け日本文化の発展に寄与してきました。今後とも会員一同の更なる研鑽と、日本の音楽文化の発展のため活動していきます。	日本訳詩家協会
	けやきホール・ ココプラザ(関西)		
(14) 「日本作曲家協会音楽祭・2015」	平成27年10月	音楽界の発展、著作権に対する啓蒙、また地域の福祉に貢献する。時代は移りテレビの音楽番組は大幅に減り、日本(昭和)の文化ともいえる歌謡曲を耳にできる機会は激減しています。この音楽祭は、普段聴くことのできない素晴らしい歌手達を督励し育てていくことがとても重要であると考え、 〈1〉ロングヒット賞/ベストカラオケ賞/有線大衆賞・ 〈2〉音楽作曲家協会音楽祭・奨励賞・ 〈3〉ソングコンテスト・グランプリ作品の発表を行います。	公益社団法人 日本作曲家協会
	未定		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(15) 東京交響楽団 現代日本音楽の夕べシリーズ 第18回	平成27年10月10日	1992年まで定期的に行ってきた時代の変化と共に休止していた「現代日本音楽の夕べシリーズ」が、先の大震災を機に日本人にしか表現できない、日本独特の文化、芸術、音楽を改めて見つめ直し、発表していきたいと2013年度に復活したシリーズです。日本のオーケストラとして、時代に埋もれた現・近代の日本のオーケストラ音楽を掘り出し、世に広く紹介していきたいと企画しています。2015年度は、没後60年である早川文雄(1941-1955)の映画音楽である「七人の侍」と「ムクの木の話」そして、東京交響楽団が委嘱初演し、作曲家の死の直前に完成した交響組曲「ユウカラ」を取り上げ、日本の映画音楽とクラシック音楽の両方における氏の功績を再確認したいです。クラシック音楽ファンのみならず、映像関係者や映画関係者、また、レコード業界からも注目度の高い演奏会となると思います。	公益財団法人 東京交響楽団
	ミューザ川崎 シンフォニーホール		
(16) 水と土の芸術2015 大友良英 「オーケストラ NIIGATA! '15」公演	平成27年10月12日	「水と土の芸術祭 2015」において、大友良英「オーケストラ NIIGATA! '15」公演を開催することにより、地域の宝を掘り起し磨きあげる本芸術祭の目的を「音楽」として発信するとともに、音楽が持つ魅力の再認識や「音楽文化」の普及、ひいては「音楽」が溢れるまちづくりにつなげていきます。大友氏発案のこのオーケストラは、民族楽器や、たらい、フライパンなど、あらゆる種類の音のでる物が楽器として用いられる「即興オーケストラ」です。素人も含めた様々な人々が様々な物を使って出す不思議な音色の共振に、芸術の持つ創造性の高さを実感できるものです。本芸術祭のテーマでもある「水と土」に関する農耕機具や伝統芸能である神楽などで使用する楽器なども持ち寄って演奏を繰り広げていきます。	水と土の芸術祭2015 実行委員会
	新潟市民プラザホール (予定)		
(17) オペラ『泣いた赤おに』	平成27年10月16日	びわ湖ホールでは、子ども達に質の高い舞台芸術を鑑賞・体験する機会、芸術家と触れ合う機会を提供し、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな創造力を養うとともに、将来の芸術家や客観層を育成し優れた文化芸術の創造につなげることを目的とし、オペラを制作、県内の公立文化施設での上演を企画しました。オペラの演目には、浜田廣介氏の名作童話「泣いた赤おに」を原作に、松井和彦氏が構成・作曲した子ども向けオペラを採用します。よく知られた原作に親しみやすい優れた音楽が加わることで心に染み入るストーリーを子どもたちに鑑賞してもらいます。	公益財団法人びわ湖ホール
	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城市市民総合センター(大阪) ・豊栄の さと(滋賀) ・守山市民ホール(滋賀) 		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(18) 第18回著作権シンポジウム 「いい歌を残すための歌会議・東京」	平成27年10月17日	<p>本事業の主な目的は「音楽著作権の理解と保護」であり、具体的には権利者としての作家と、メーカー・カラオケ教室・歌謡曲ファンを含めた、ユーザーいわゆる広義の一般大衆との交流の場を通して、音楽著作権の正しい理解と保護を呼びかけることにあります。これまで大阪で開催して以来、広島、福岡、仙台、名古屋、東京、静岡、金沢、北海道など「いい歌を残すための歌会議」のネーミングのもと「著作権のシンポジウム」を実施してきました。ここ数年、作家による作品作りのエピソード、また参加者からの著作権に関する疑問点に答えるべく、質疑応答の時間を設け、理解を深めるような有効なシンポジウムにしたいと願い計画を進めています。</p>	一般財団法人 日本作詩家協会
	ホテル・ルポール麹町 (東京都)		
(19) リトル・マルディグラ2015	平成27年10月	<p>小泉八雲のご縁でつながった「ニューオーリンズ市」との交流は、今年3月(2014年3月26日)で友好都市20周年を迎えました。ニューオーリンズ市は、ジャズの発祥地、音楽の街として知られているが、リオのカーニバルと並ぶ世界な祭りニューオーリンズ・マルディグラも有名で、松江版マルディグラ「リトル・マルディグラ」は、二つの街の架け橋となるニューオーリンズ音楽を子どもたちから体験する機会を提供する。「リトル・マルディグラ」は、子どもたちを中心に繰り広げるパレードと音楽のお祭りです。また、音楽の力で街が賑わい、人々が笑顔になれる子どもから大人まで世代を超えて楽しめる街角音楽会で、音楽を通じたまちづくり・人づくりを図り、ご縁を未来へつなげることを目的とします。</p>	NPO 法人 松江サードプレイス研究所
	島根県民会館 大ホール		
(20) 「ヴェルディ「レクイエム」長岡演奏会	平成27年11月22日	<p>長岡市民の合唱活動が盛んで、平成24年度には長岡駅前新しく建設された新市役所「シティホールプラザ・アール長岡」のオープニング記念事業として「みんなで歌おう千人の第九コンサート」を成功させ、音楽を通して当市をアピールしてきました。市民から更なる合唱文化の興隆を目指し、ヴェルディレクイエムを演奏する企画が、管弦楽として出演する東京フィルハーモニー交響楽団を迎え実施します。</p>	公益財団法人 長岡市芸術文化振興財団
	長岡市立劇場大ホール		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(21) 第5回 帯広市民オペラ「こうもり」	平成27年 12月11日・13日	本公演は、企画・運営・公演まで多くの市民や文化団体が参画するもので、出演者やスタッフは公募より決定し、舞台づくりは地元スタッフが制作にあたり、演奏は市民オーケストラである帯広交響楽団が担当する。過去4回の市民オペラ公演を実施してきたが、回を重ねる毎に出演者、指導者、スタッフの市民割合を大きくして名実ともに市民オペラ公演の実現に向け事業を実施してきています。本公演では、外部からの指導者を招聘し、出演者、指導者、スタッフの育成に力を入れます。また、市民にリハーサルを公開し、ひとつの作品が完成していく過程を継続して鑑賞してもらおうとともに演出家などによる市民向けのオペラ講座を実施してオペラに対する関心を高めてもらいます。	一般社団法人 帯広市文化スポーツ 振興財団
	帯広市民文化大ホール		
(22) ①「JAZZY NIGHT」 ②「親子と子の♪はじめての コンサート」	平成28年1月17日	現代音楽系、ポップス系、クラシック系、歌謡曲系等々、音楽には様々なジャンルがあります。それらの分野を横断・融合するコンサートをつくることを目的としています。音楽業界の今後の発展に繋げるものとして後進育成・作編曲家の認知を軸として、まだまだ認識不足である著作権・著作隣接権に関して認識をしてもらうことも目的としています。1つは、大人向けのジャズライブ・コンサートが極端に少なくなっている昨今196,70年代のスタンダードジャズからライトなポップまでを聴かせる「おとなの JAZZY NIGHT」企画。1つは、十二支って何だ？ どうして動物だろうか？ 干支について‘お話のプロ’ 講談師神田京子が楽しく語り、そこに童謡唱歌やジブリ作品との楽しい歌と音楽の企画です。	一般社団法人 日本作編曲家協会
	①渋谷セルリアンタワー 東急ホテル2階 ②北とびあつつじホール		
(23) 希望のファンタジー・ デュークエイセス 深川公演	平成28年2月11日	深川市には市内に6つの合奏団です。空知地域に30以上の合唱団があり、団員も300名をこえます。それぞれがその街で定期演奏会を開催。今回深川を中心とする空知全域の合唱団、また中学校や高校・大学の合唱団にも呼びかけ100名の仲間を作り、デュークエイセスと共演し発表します。各合唱団の交流や専門家と共演を目的に合唱団の練習を通じて赤平を含め交流を含めることを第一に技術の向上も含めて、人と人との絆を大切にすることや心と心の通い合いを含め、地域文化向上に貢献することを目的とします。	NPO 法人 アートステージ空知
	北海道深川市内		

平成27年 助成事業一覧表

(※開催日順)

事業名	実施時期	事業目的 / 事業内容	団体名
	実施場所		
(24) 東京都交響楽団 「作曲家の肖像」シリーズ Vol.106 (最終回)[日本]	平成27年3月5日	21年続いた「作曲家の肖像」シリーズの締めくくりは、三人の日本人作曲家の作品集である。武満徹没後20にあたり、1972年の札幌冬季オリンピックを記念してIOCより委嘱された作品〈冬〉を取り上げます。この曲はパリで初演され、メシアンをも魅了した美しく静謐な音楽です。2016年が生誕100年・没後20年の柴田南雄の《遊楽》は、東京都交響楽団の第100回定期演奏会を記念した委嘱作品で、初演に引き続き出演した現代音楽の分野で国際的に評価の高い「ワルシャワの秋」音楽祭の公演も視野にいれて書かれた作品です。2013年9月に初演されたばかりの池辺晋一郎の交響曲第9番は、福島の詩人長田弘(おさだ ひろし)の詩をテキストにした、ソプラノとバリトンとオーケストラのための全9楽章、50分の大作。東日本大震災以後、自然と人間の関係について考察し続ける池辺の一つの集大成となった感動的なシンフォニーです。	公益財団法人 東京都交響楽団
	東京芸術劇場		
(25) 「そうだ！ 公民館でオペラをつくろう」	平成27年3月中旬	活動が期待される若手アーティストが将来を担う多くの子どもたちに、家庭環境の隔たり無く音楽の楽しさを情操豊かに伝えるため、市民アーティストが協働し「市民劇場」を創り、音楽に親しむ拠点を整備することを目的とします。	地域連携 パフォーミングアーツ 実行委員会
	・知多勤労文化会館 (知多市) ・池田町中央公民館 (池田市)		
(26) オーケストラの日 2016	平成28年3月31日	日本オーケストラ連盟では、ひとりでも多くの方がオーケストラを通じてクラシック音楽に親しみ、より豊かな生活を送っていただけるよう、3月31日を「ミミにいちばん!」と語呂合わせで「オーケストラの日」とし2007年以降毎年実施してきたが、人間が享受する多くの情報がデジタル化された今日、オーケストラという100人に及ぶ人間による演奏は多くの人々の生活に「喜び」「潤い」「感動」を届けます。全国のオーケストラがこの日、各々の地域においてオーケストラの啓蒙活動を行っている。また、首都圏では千葉・神奈川のオーケストラを含む12のオーケストラのメンバーが一堂に会し演奏会、そのほかワークショップなどを行います。当日はステージ、ホワイエ、楽屋までホール全体がオーケストラで溢れます。	公益社団法人 日本オーケストラ連盟
	文京シビックホール		